

第32回横浜マリノールカップ女子Aゾーン決勝 8/14(日)

六浦南ペガサス 75 VS 宮の原ミニバスケットボール(MMB) 39



(1Q) 六浦南、MMB 両者共にマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、六浦南 #5 オフェンスチャージをとられる。だが、攻撃的なインサイドプレーを展開する六浦南は #5 の長身を生かしたプレーを中心に、#10 のジャンプシュートや #4 や #7 のドライブでディフェンスを圧倒し得点を重ねる。対する MMB は長身の #4 を中心に攻める。だが、六浦南の高さ・スピードを止められず 25-7 で1Q を終了する。

(2Q) 両者変わらずマンツーマン。1Q 同様、六浦南のペースで展開する。開始2分後 MMB #12 のジャンプシュートが決まる。流れをつかみたいところだが、連続シュートに持ち込めず苦しい展開となる。対する六浦南は #7 のジャンプシュート、#6 の連続シュートで加点。開始3分後、MMB タウムアウト。得点は 35-9 と六浦南リード。何とか反撃したい MMB は #11 の外角シュートが決まる。だが、六浦南はもう一人の長身 #8 のリバウンドやインサイドプレーで更に加点。前半は 42-11 で終了する。

(3Q) 六浦南ゾーンプレス、MMB マンツーマンでスタート。MMB のボール運びはプレスに阻まれ苦しい展開。やっとゴール下までつなぎ #4 のシュートが決まる。六浦南は高さを生かし #5、#8 を中心にインサイドへボールを集めて得点を重ねる。3Q 終えて 59-19 と 40 点差。

(4Q) 両者共にマンツーマン。MMB は #4 のインサイドシュートで連続ゴール。#10 もポストプレーで加点。ディフェンスもプレッシャーをかけ続けミスを誘い、攻撃の手を緩めず。4Q の両者得点は 16-20 と MMB が上回った。最後まで諦めず戦いに挑んだ MMB の選手を讃えたい。